

共通科目	病理診断学・法医学特論 Advanced Study & Research for Pathology and Forensic Medicine		開講	毎年・ <b>隔年</b>	
			区分	選択	
単位	1 単位	科目責任者	宇於崎宏 教授 (板橋・病理)	授業形態	講義

概要	病理組織診断学および法医病理診断学の基本と応用、および技術に関する最新の情報を解説する。また、日常診療の向上の努力が医学の進歩に深くかかわっていることを学ぶ。
到達目標	組織診断の概念の理解と実務における診断能力の向上をはかる。あわせて、医学研究の意義、臨床活動における病理学法医学の位置づけと、コミュニケーションスキルを習得する。さらに、患者のプライバシーと尊厳を守り、守秘義務を果たすことの重要性も学ぶ。
事前事後学修	授業タイトル内容関係の書籍による予習(下欄の教科書・参考書)。1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。
評価方法	講義の課題(80%)、Discussion内容(20%)を評価する。
教科書・参考書	医学部在学時の病理学・法医学で紹介された教科書・参考書 医学部図書館所蔵の教科書
履修上の注意事項	上記教科書・参考書のほか、インターネット内の信頼できる公式サイト(日本病理学会:病理コア画像)等、最新の知識獲得も推奨される。試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

No.	月日	時間	講義タイトル	担当者	備考
1			日常診療と医学の進歩	石田 毅 助教 (板橋・病理)	大学棟本館 1階105教室
2			胃癌の病理	沼倉 里枝 助教 (板橋・病理)	〃
3			病理組織標本の作製方法	宇於崎宏 教授 (板橋・病理)	〃
4			通常的法医解剖の特徴	野上誠 教授 (板橋・法医)	〃
5			呼吸器の病理	斉藤光次 講師 (板橋・病理)	〃
6			同一腫瘍内の組織像・発現形質の多様性と癌微小環境	菊地良直 講師 (板橋・病理)	〃
7			病理診断依頼書の書き方・報告書の読み方	笹島ゆう子 教授 (板橋・病理)	〃
8			基本から学ぶ腎生検のよみかた	藤垣嘉秀 教授 (板橋・内科)	〃
その他の演習・セミナー等					

※講義日程の変更・追加の連絡等がある場合、登録されているメールアドレスに連絡します。